

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2026

十勝は、白銀の世界

昨年とは様変わりで、年前にドカ雪60cmが降り、すっぽり雪に覆われた年越しとなりました。寒さも一段と増し、-15度越え。日中でも氷点下の真冬日が続き今年の寒さは一段と体にこたえます。ガチガチの世界ですべてが凍り、ドアノブや手すりに触るとくっ付きます。お日様が7時にやっと目覚めますが、その時が一番寒いです。

牧場の牛たちも、冬毛に真白く霜をまとい、黒い牛が白く見えます。口周りのひげも吐く息で真白に放射状に広がります。あまり寒いと食いが落ちますが、少し緩むと一気に食べ始め、調整が難しいですね。黙々と食べ寒い冬を乗り越えようとしています。牛舎周りには、新雪の後にはいろんな動物の足跡がクッキリ。いろんな動物が訪問がありますね。

冬至を過ぎ、反転。まだまだ寒さが続きますが、日が伸びてくるのが唯一の明るい兆しかな。



活動のお知らせ

12/12(金) 事務局会議 シンポジウム総括、次年度シンポジウム内容検討

NEWSばか読み

- 中酪 2026年に都府県酪農家5000戸割れに
12/1:北海道に集中役割増
- スペイン産豚肉 アフリカ豚熱発生で一時輸入(輸入量17%)停止
12/2:国産需要増
- 農水省 畜産クラスターで酪農分野制限撤廃
12/3:建設資材費高騰で帳消し
- 10月輸出額で牛肉22%増以上に緑茶2.3倍増85億円
12/3:ブーム
- TPPで輸入プロセス用チーズの関税率が半減15% 国内生産に影響
12/3:
- 別海 酪農家が宿泊施設開業12/3:地域の衰退化に危機感
- 家畜市場 11月和牛子牛相場70万円超え3年半ぶり
12/4:肥育農家に圧迫
- 農水省 食料システム法で価格形成努力義務に判断基準提示12/5:
- 環境省 クマ被害230人過去最悪 青森りんご被害深刻
12/6:クマとの共存課題
- 2024年度有機食品輸出が昨対1.8倍最多 茶・醤油伸び
12/8:海外有機食品市場
- アグリスマイル BS資材効果8割実証12/10:使用条件に課題点
- アメリカ 報復関税の影響で農家の経済支援に1.9兆円
12/10:足元に帰る
- 農研機構 荒廃草地更新にライグラス追播の簡易技術研究
12/10:
- NTTドコモ 栃木県でサーモカメラで子牛体温監視システム開発
12/10:
- 秋田県 全国コメ生産県で2026年度米の生産目標を10%減
12/11:先々想定
- 熊本食肉卸杉本本店がクウェートにハラール認証牛肉輸出開始
12/11:中東への拡がり

- 全国畜産縦きいきネットワーク 畜産女性農業者一堂に情報交換会
12/12:いいね
- みどり認定急増1.6倍3万件に 2027年度直接払いで必須条件
12/18:意識が高まれば
- 中酪 北海道含め11月受託乳量が前年割れ12/19:
- JA全農 配合飼料価格1区3月4200円上げ原料価格上げ
12/20:またまた圧迫
- 日銀 政策金利0.75%上げ30年ぶりの高水準
12/20:景気は良いのか
- 更別村 十勝さらべつ共創カンパニーと脱炭素連携協定
12/22:官民連携脱炭素
- 26年度予算折衝佳境 構造転換・新規就農者に助成増額165万円
12/23:既存の上澄
- 農水省 2024年農業産出額10兆円超え 28年ぶり
12/24:総額増えたが
- 農水省 有機推進方針の見直しに着手 需要拡大が課題
12/24:作っても売れなくては
- 農水省 26年度予算2兆3千億円決定 構造転換強化
12/26:既存維持変わらず
- 農地所有適格法人 一般企業リース法人が10%増加
12/26:農業の開放化
- 文科省 26年度予算で学校給食無償化予算確保12/27:一歩前進
- 日本食肉格付協会 ついに和牛去勢7割がA5
12/29:需要要求とのギャップ
- サッポロビール 北海道で秋撒き大麦開発へ
12/29:地産地消のビールが
- クマ農業被害拡大 冬眠しない、人依存型増加12/31:課題越年

東京直近NEWS(12/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調に変化なし。
絶対頭数の減少傾向は変わらず、各メーカー集荷苦戦継続。
販売状況は12月期と考慮すると、後半は和牛ヘシフト期のため不足感は軽減。全体として切落し中心でロイン、カタロースのスライス材の動き。
但し、枝肉コスト高騰続いており売価転嫁へ交渉も継続。
1月以降の不需要期も価格交渉高値基調維持。
荷動きとして鈍い状況も、慢性的な不足感と相場水準高値から枝肉単価に見合った価格要求継続も、国産牛売り場確保も課題。

経産牛

北海道内の出回り頭数の減少傾向は継続課題。
12月期は年末年始も見据え出荷頭数は上場の情報。
但し、相場は高値安定しており、枝肉@1000付近天井。
販売面は年末期から上物にシフトしており、一定量の加工向け原料の動きにとどまった印象。挽き材も一時的引き合いからは落ち着いており、逆にやや鈍くなっている。一部からは決算の関係もありスポット的な案内情報も。末端では輸入品も高値から挽き材の特売打てず、原料配合の見直し動きもあり、今後の情勢に注視。

反芻動物の科学Ⅳヒートストレスとその対処 ELF Consulting Office
Toyohiko Seno 8回シリーズ①

反芻動物の科学Ⅳ

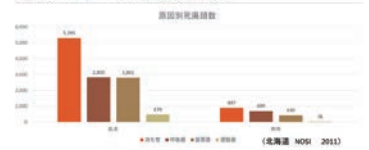
初生子牛の初乳給与と免疫機構
—分娩当日の子牛の管理—

ELF Consulting Office
12/19/2025 Toyohiko Seno

①子牛の疾病と農場の生産性

- 初生子牛は消化器疾患と呼吸器疾患が多く、農場の生産性に影響する。1月齢以内の子牛の死亡率は乳牛で7.3%、黒毛和種で3.0%という。
- 施設の場合、農場の規模、管理システムも疾病の発生に影響を与える。
- その中でも牛群の感染症の発生と免疫機構は深く関係している。
- 免疫機構の理解は、農場の経営にとっても最も重要である。

②新生子牛の死産頭数



③免疫反応の仕組み

- 免疫(immunity)は自己(self)から非自己(not self)を区別する仕組み。
- 生体の免疫は病原体などの非自己を抗原(antigen)として認識し、抗体(antibody)を作り、異物である抗原を排除する。
- 母牛が経験した結果作られる抗体は、抗原に対する特異性を持つ。母牛が感染を経験しない抗体は、子牛に移行しない。
- 母牛から得られる子牛の抗体は、抗原に特異的に働く。

④母牛の初乳を介した抗体の移行

- 人では抗体を胎盤から受け取る。
- 牛では分娩した子牛は母牛からの免疫抗体を受け取っていない。
- 分娩後、子牛は母牛の初乳(Colostrum)を飲用して抗体を吸収する。
- 初乳に含まれる免疫グロブリン (Immunoglobulin) を吸収する。
- 免疫グロブリンは蛋白質であるIgGで分子量15万である。
- IgGは分子量が大きいので通常の腸管からの吸収出来ない。

⑤パイエル盤織毛から抗体を吸収する

- 子牛は初乳を飲むことで抗体(免疫グロブリン)を受け取る。
- この初乳に大量のIgGと少量のIgA、IgMを含む。
- 免疫グロブリンの分子量はIgG、IgA、IgMと大きい。
- このため免疫グロブリンは回腸パイエル盤(M細胞)と織毛(M細胞)から吸収される。
- 免疫グロブリンの他にリソチーム、サイトカイン、リンパ球、マクロファージなど細胞成分も含まれる。

⑥パイエル盤と織毛のM細胞の仕組み



⑦主な免疫グロブリンの種類

- IgG：(分子量15万)分子量が比較的小さく組織液中に溶出できる。組織に侵入する感染源と血液中の感染源の両方に防衛的な役割を果たす。IgGは好中球マクロファージによる貪食作用を促進する。
- IgA：(分子量16万)分泌型システムの主な免疫グロブリンで、唾液、涙液、初乳、母乳、消化液の分泌液中に存在する。
- IgM：(分子量90万)J鎖による5量体。分子量が多く、ほとんど血液中に存在する。細菌感染の初期に重要で、抗原を凝集する。



資源循環型肉牛生産シンポジウム 2024

転載・再利用は固くお断りします

話題提供3.「活用事例 地産地消人のパンづくり藤森商会と食の地域循環」4回シリーズ④

株式会社満寿屋商店(ますやパン) 代表取締役社長 杉山 雅則 氏



北の牧場舎
eびーふ×
十勝のパン

人気No1

牛ぎゅう
カレーパン



人気No2

シマエナガ



食育活動:地産地消を続けるために
ビザ・パン教室 2005年から 800回以上



Our Purpose
パンの力で
人と地域の
つながりを
世界に広げます。

ご清聴ありがとうございました！

